

Chapter 1 法政大学大学院の「特色」

最先端の分野がそろそろ多彩な知の空間

多様な研究科を設置

法政大学大学院は1951年に人文科学研究科・社会科学研究科に修士課程を設置したことに始まります。国際社会に開かれた大学院として新しい時代の最先端で活躍する人材の育成に取り組み、歴史ある研究分野から現代の社会的要請に即した研究領域まで多彩な研究科を設置しています。

また「社会に開かれた大学院」を特色として打ち出し、1995年にはわが国初の夜間博士後期課程を開設しました。さらに、社会のニーズに応えるべく、研究科・専攻の新設や再編など、教学改革も積極的に推進してきました。現在は、15研究科・31専攻・3インスティテュートを設置し、各研究科では、研究者養成から高度専門職業人養成まで、それぞれの目標に適した教育・研究を行っています。

15研究科・31専攻・3インスティテュート

- | | | |
|---|---|--|
| <p>1. 人文科学研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ①哲学 ②日本文学 ③英文学 ④史学 ⑤地理学 ⑥心理学 <p>1. 国際日本学インスティテュート</p> <p>2. 国際文化研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ①国際文化 <p>3. 経済学研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ④経済学 <p>4. 法学研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ③法律学 <p>5. 政治学研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑩政治学 ⑪国際政治学 | <p>6. 社会学研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑫社会学 <p>7. 経営学研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑬経営学 <p>8. 人間社会研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑭福祉社会 ⑮臨床心理学 ⑯人間福祉 <p>9. 政策創造研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑰政策創造 <p>10. 公共政策研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑱公共政策学 ⑲サステナビリティ学 <p>11. キャリアデザイン研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑳キャリアデザイン学 | <p>2. 連帯社会インスティテュート</p> <p>12. スポーツ健康学研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑳スポーツ健康学 <p>13. 情報科学研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ㉑情報科学 <p>14. デザイン工学研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ㉒建築学 ㉓都市環境デザイン工学 ㉔システムデザイン <p>15. 理工学研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ㉕機械工学 ㉖電気電子工学 ㉗応用情報工学 ㉘システム理工学 ㉙応用化学 ㉚生命機能学 <p>3. 総合理工学インスティテュート</p> |
|---|---|--|



社会を牽引する教授陣による少人数教育

各研究科では、各分野をリードする一流の教授陣が指導に当たります。授業のほとんどは少人数のゼミ形式で、すべての学生が自分の研究課題に適した指導教授について論文指導を受けることになります。

教育のグローバル化を推進

その他、文部科学省「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」の採択を受け、「グローバル教育センター」を中心に、国際的な産業競争力の向上や国と国の絆を強化する基盤として、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図っています。

学生個々の環境に対応できる開講体制

本大学院では、昼間開講・昼夜開講・夜間開講の3つの時間帯をそろえ、社会人や留学生など学びたい人たちの生活や環境に対応することが可能になっているため、幅広い層の学生の受け入れを実現しています。

また、学期は春学期と秋学期の2期制(2セメスター制)を実施(一部の専攻・科目では4期制)。さらにビジネスシーンで役立つ実地研修や専門家によるワークショップなどに定評があります。

■ 選択できる3つの開講時間

〔昼間☀️開講〕 科目は昼間に配置され、主に研究者養成を目的とした構成になります。授業は昼間のみで昼間に通学できる人が対象です。

〔昼夜🌅開講〕 研究者を目指す方から生涯教育として入学を希望される方まで広く門戸を開いています。昼間と夜間両方に科目を配置しています。自分に適した時間配分で履修することが可能です。

〔夜間🌙開講〕 昼間勤務しながら学べ、平日2～3日の夜間通学と土曜通学(昼・夜)の受講によって修了できるカリキュラムとなっています。場所は、仕事を持ちながらの通学に便利な「市ヶ谷キャンパス」。市ヶ谷・飯田橋の各駅から徒歩で通える立地です。



■ 授業時間

キャンパス	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限	時間帯
市ヶ谷キャンパス 小金井キャンパス 多摩キャンパス	9:30 ~ 11:00	11:10 ~ 12:40	13:30 ~ 15:00	15:10 ~ 16:40	16:50 ~ 18:20	昼間
市ヶ谷キャンパス	18:30 ~ 20:00	20:10 ~ 21:40				夜間

※授業時間について変更が生じた場合はHPで発表します。

知の最前線であるための教学改革

経済学研究科

多様化の進展とともに、高度に専門化する21世紀のグローバル社会に対応できる人材養成を推進するための改革の一つとして、より専門的なエコノミストや研究者の養成を目的とした、修士課程・博士後期課程5年一貫の「博士5年(Ph.D.)プログラム」を2014年度よりスタートさせました。5年一貫の博士養成課程は、日本ではあまり前例のないプログラムですが、確かな研究基礎力を修得した上で、時間をかけて専門分野を選択できるというメリットがあり、欧米では多くの大学院で採用されています。

2017年度入試より「経済学研究科修士課程1年制コース」が設置されます。商社・銀行など経済学に関する実務経験やシンクタンクなどで研究業績が十分であると認められる社会人と、本学経済学部を優秀な成績で卒業しQE科目を先取り履修しQE筆記試験に合格した学生に、アカデミックな経済学を短期間で学べる環境を提供します。「M.A.プログラム」、「Ph.D.プログラム」のいずれかに所属します。「Ph.D.プログラム」では、1年で修士取得+3年の博士後期課程で「博士4年プログラム」になります。

理工学研究科

学部から大学院修士課程までの6年間を通じて専門領域を学ぶことが高度技術者・研究者の育成に不可欠となっていることから、本大学院の工学研究科でも、6年一貫教育を行うことのできる体制を目指し、2008年の学部再編(工学部をデザイン工学部、理工学部、生命科学部に分割)をもとにした改組を実施。2013年度より工学研究科から理工学研究科へ改め、学部学科を基礎とする6つの専攻で構成されています。



外国人入学試験協定を中国4大学に拡大

2015年10月、法政大学と福建師範大学(中国・福州)との特別入学試験の実施に関する協定を締結しました。これにより、人文科学研究科日本文学専攻、国際日本学インスティテュートで、修士課程の入学試験を中国現地で実施し、多彩な学生の受け入れを目指します。2012年の四川外国語大学、2013年の重慶師範大学・福州大学に続き、入学試験に関する協定を中国4大学へと拡大し、さらに魅力あるプログラムへと発展を続けています。

この制度は、協定校の4年次在籍者および卒業後3年以内の者が3月に渡日せず現地で受験し、合格者は6月の卒業前に進学先を確定できます。そして9月から翌年3月までの約半年、特別研修生として法政大学大学院に在籍し、4月の修士課程入学に備え、「日本文学・国際日本学基礎演習」「日本文学・国際日本学論文作成基礎実習」および指導教員の担当する大学院科目の計3科目を必修科目として履修するほか、大学院・学部設置科目を4科目以上履修することで、大学院での研究方法や学術的文章の執筆方法などを修得することが可能となります。

総合理工学を英語で学ぶ横断型大学院プログラム「IIST」

IIST(Institute of Integrated Science and Technology)は大学院情報科学研究科と理工学研究科が協働し、理系専攻分野の先端的研究を遂行するとともに、専攻横断的な研究分野を設けサステナブルなグローバル社会の実現に向けた問題解決に取り組むことを目的に2016年9月に開設されます。

■ 情報系分野を中心に5分野から構成されています。

